



辞	づ	こ
め	う	う
た	ッ	し
	ク	て
	企	私
	業	は
	を	





辞	づ	こ
め	う	う
た	ッ	レ
	ク	て
	企	私
	業	は
	を	



こ
う
し
て
私
は
企
業
を
辞
め
た
ブ
ラ
ッ
ク



あ…



もう朝か…





憧れの出版社に
入社して一年

入社初日から
ずっとこんな感じ



あ…？

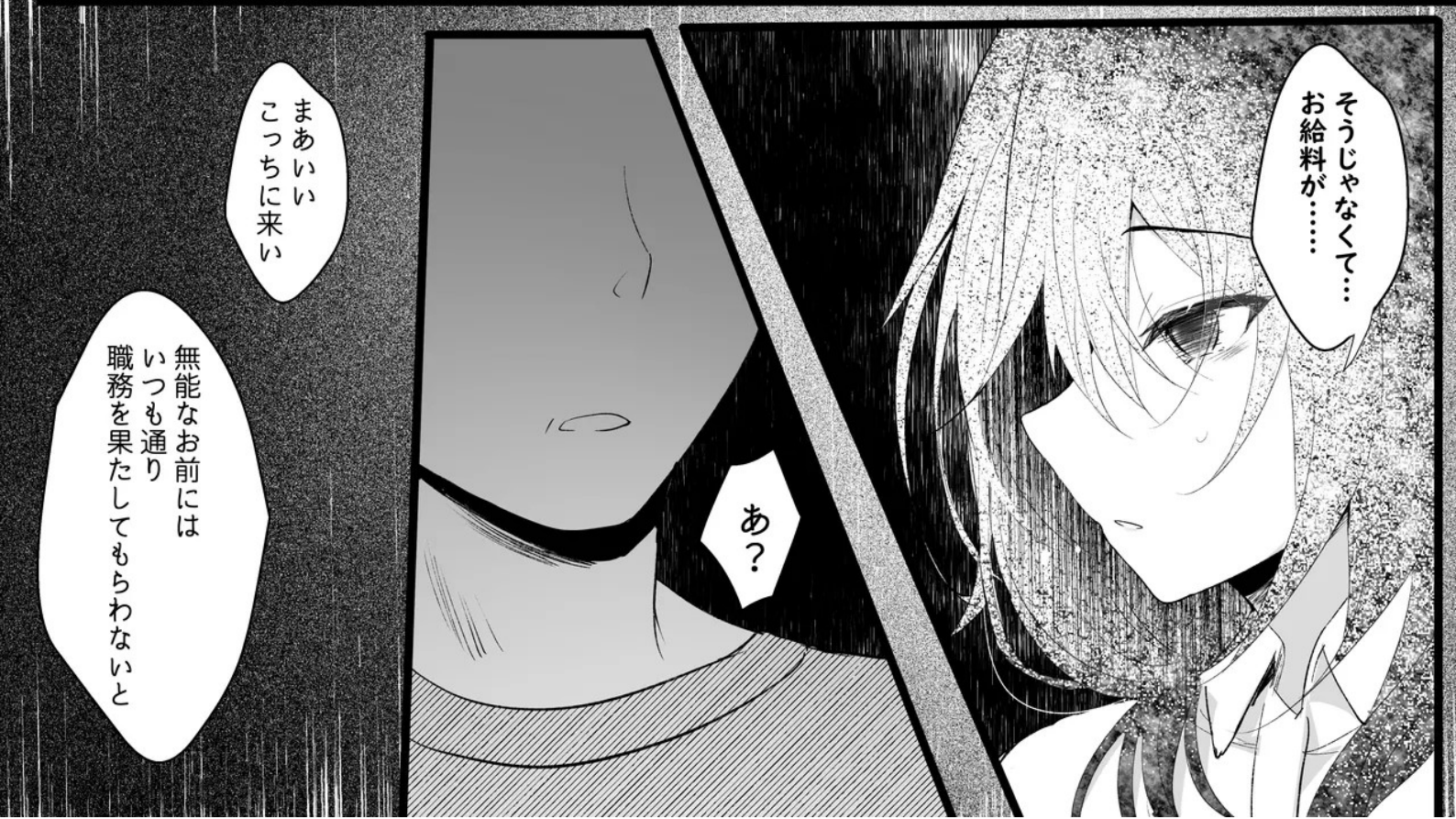


暗証番号 ***
残高 1.048 円

お引き出し お預け入れ
お振込み



そういえば
昨日は
給料日だったな





逆らえない
新人社員を

いびるような
ことをして

相変わらず
へったくそだな

手も
使えよ

あゝ
やっぱりお前
全然だわ





ふー……
お前仕事では
全然役に立たんけど

す……

す……

こうやって溜まりに
溜まってるときは

都合のいい
下っ端性処理器が
いてくれて助かるわw

おいオナホ

次は分かってんだろうな

は……ッ

す……



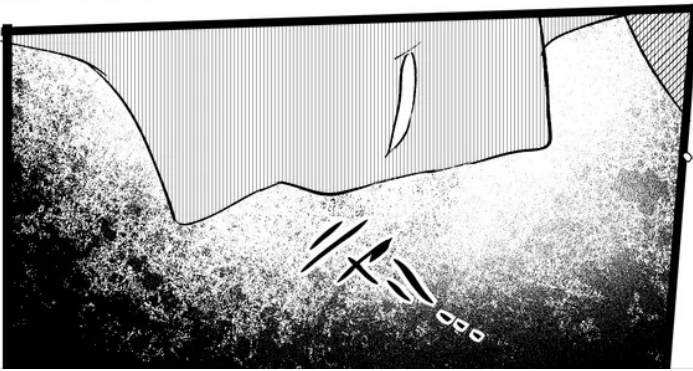


有難く思えよ

まあでもクソ無能な
雑魚まんこ舐けるのも
上司の役目だからな



早く終わって……っ！









……最悪

死んでしまえば
いいのに

会社は
倒産した

その後

出版社編集長汚職が
内部告発

ずさんな管理体制や
外部との不正取引などが
告発され



職は失ったけど

でもやっと
もう



クソ編集長に
セクハラ。パワハラ
されなくて済んだ



はぁ...

.....やっと
解放された



やっと私らしく

人間らしく
生きていける

んっ...

——なのに

はぁ...

身体は
覚えている

はっ…

はっ…

無理やり
犯される感覚

はっ…

はっ…

はっ…

はっ…

自分がモノとして
扱われること

はっ…

はっ…

あんなに
嫌だったのに

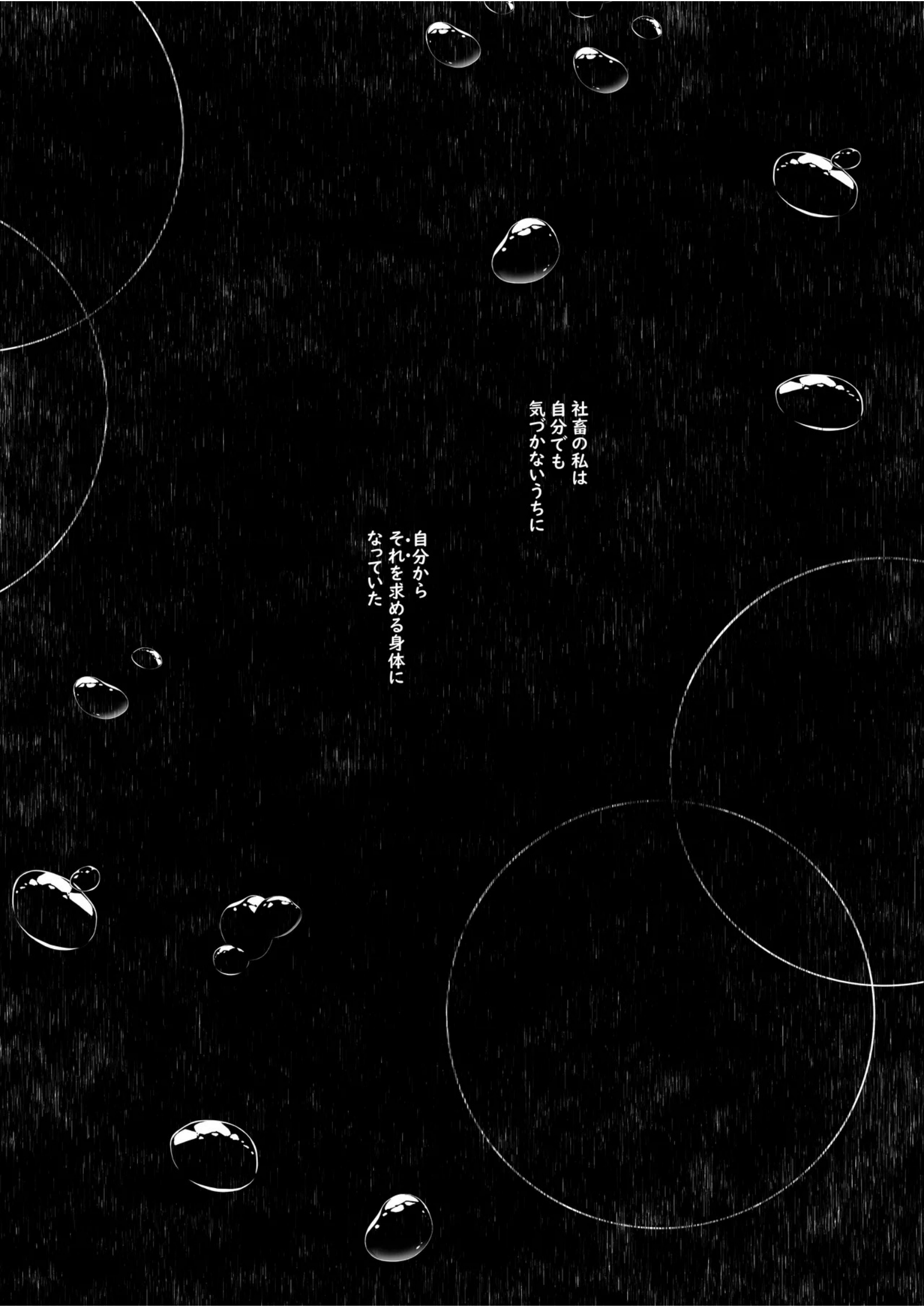
解放される日を
ずっと望んでいたのに

ふっ…

はっ…

はっ…

なの…



社畜の私は
自分でも
気づかないうちに

自分から
それを求める身体に
なっていた



お手に取ってくださり有難うございました。
タイトルは「こうして私はブラック企業を辞めた」ですが、
自主的には辞められていないので、
結局社畜魂は抜けられなかったようです。

いつもキャラクターの名前は決めてから描いているのですが、
今回は出すタイミングがなかったため「社畜ちゃん」と呼びたいと思います。
他人事ではないのでブラック企業や上司のハラスメントは許せませんが、
社畜ちゃんを描いていると不思議と自分の心が救われていく感じがします。
今後も社会人の社畜ちゃんテーマの本は描きたいと思います。

お好みに合いましたら今後もよろしくお願いいたします。
ここまで読んでくださりありがとうございました。
少しでも楽しんでいただけたら幸いです。

2023 10 真夏

発行:2023年10月01日 サークル:ろこまに 描いた人:真夏@rocomani63
HP:<https://fantia.jp/fanclubs/41191>
印刷:ラック出版様

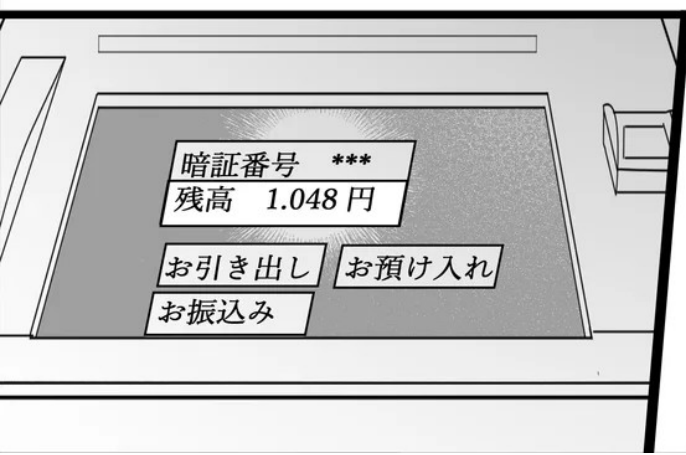
※18歳未満の方・高校生の方の閲覧・購入を禁止します。

本作品「こうして私はブラック企業を辞めた」を
許可なくインターネット上にアップロードはする行為は犯罪です。(著作権法23条)
発見次第、法的措置をとらせていただきます。

2023 10 01











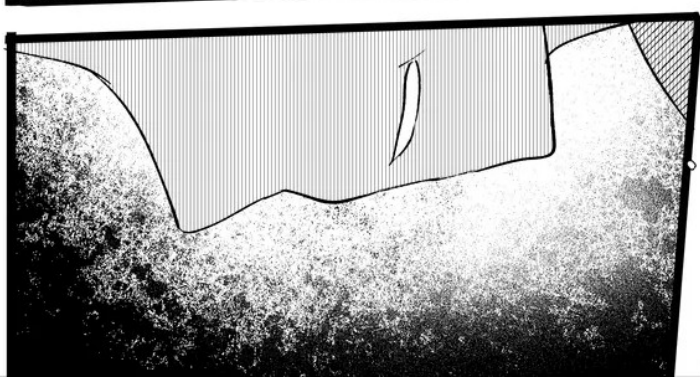




















出版社編集長汚職か
内部告発



